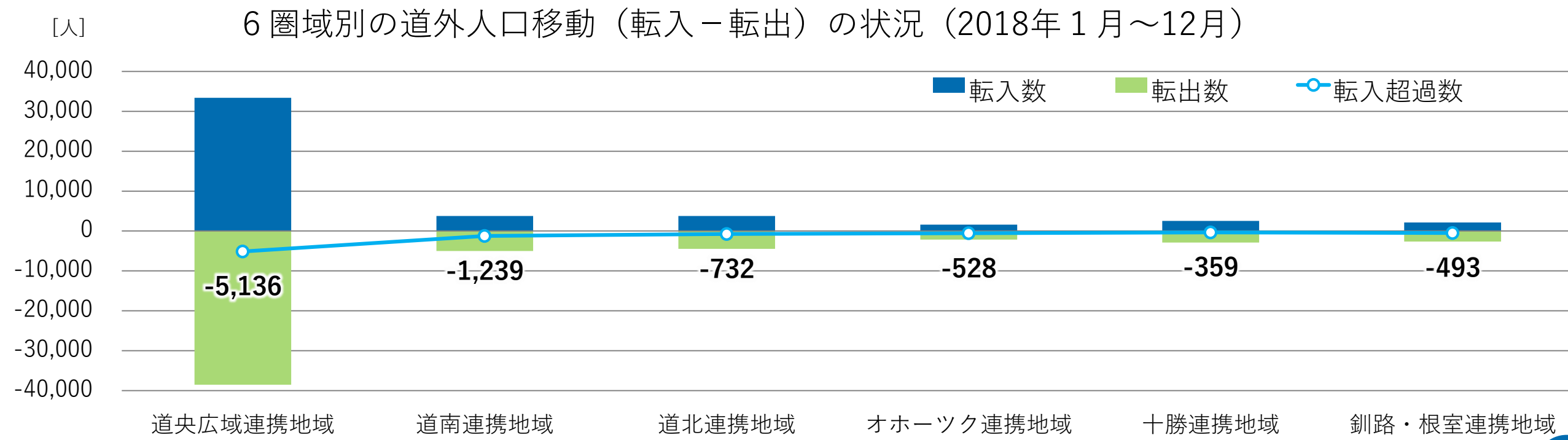
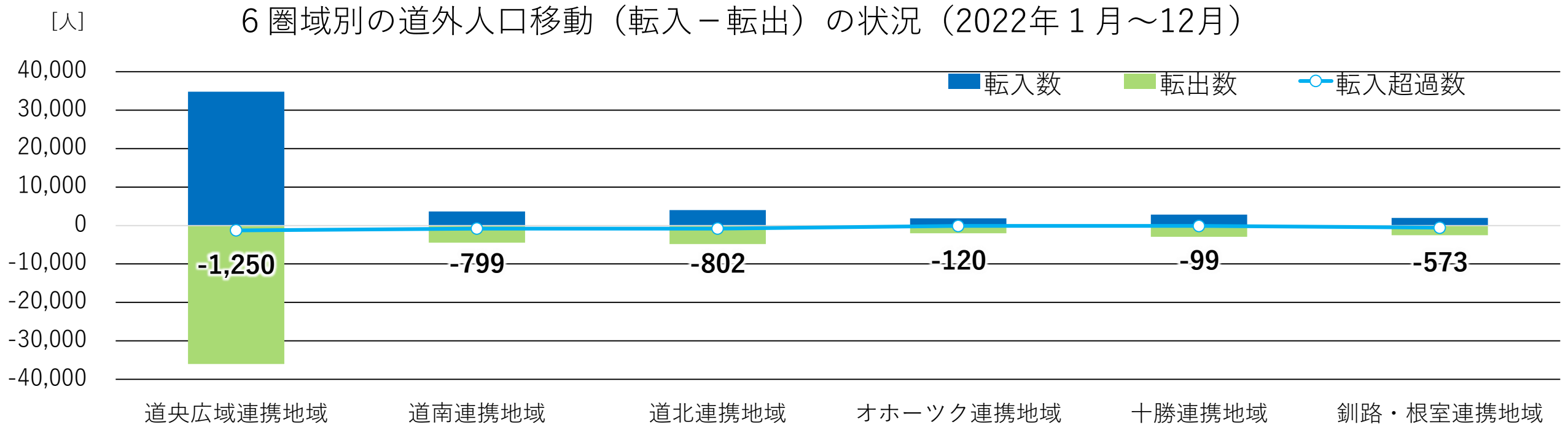


# 6 圏域別の道外転出入の状況

● 2022年における道外への転出入の状況を6圏域別に見ると、全ての圏域で転出超過となっている。2018年と比較すると、道北と釧路・根室を除く地域では転出超過が抑制されており、特に道央は転出数が減少したことで大幅に抑制されている。



# 振興局別の転出入の状況（1／2）

- 道外については、人口ビジョン改訂時同様、転出・転入ともに東京圏が多い。
- 道内については、人口ビジョン改訂時同様、檜山を除き、転入・転出ともに石狩が多い。
- 石狩は、道外からの転入が増加し、転出が減少したことにより転出超過が抑制。

2018年1月～12月

空知 [人口 293,770]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入-転出		転入-転出		転入-転出		転入-転出		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	石狩	2,728	石狩	4,582	東京都	300	東京都	381	道内	-1,800	
2	上川	672	上川	809	神奈川県	164	神奈川県	208	道外	-155	
3	胆振	311	胆振	377	埼玉県	135	埼玉県	160	合計	-1,955	

石狩 [人口 2,377,490]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入-転出		転入-転出		転入-転出		転入-転出		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	上川	5,638	胆振	3,885	東京都	6,568	東京都	9,141	道内	13,191	
2	胆振	5,475	上川	3,659	神奈川県	3,021	神奈川県	3,611	道外	-4,185	
3	空知	4,582	渡島	2,947	埼玉県	2,122	千葉県	2,576	合計	9,006	

後志 [人口 209,584]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入-転出		転入-転出		転入-転出		転入-転出		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	石狩	2,333	石狩	4,135	東京都	237	東京都	359	道内	-1,816	
2	胆振	297	胆振	422	神奈川県	156	神奈川県	181	道外	-186	
3	渡島	271	渡島	271	埼玉県	81	千葉県	123	合計	-2,002	

胆振 [人口 391,990]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入-転出		転入-転出		転入-転出		転入-転出		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	石狩	3,885	石狩	5,475	東京都	418	東京都	645	道内	-1,047	
2	渡島	558	渡島	544	神奈川県	250	神奈川県	394	道外	-536	
3	日高	429	上川	392	千葉県	203	千葉県	306	合計	-1,583	

日高 [人口 66,894]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入-転出		転入-転出		転入-転出		転入-転出		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	石狩	612	石狩	1,106	神奈川県	61	東京都	101	道内	-611	
2	胆振	336	胆振	429	東京都	59	千葉県	61	道外	-74	
3	十勝	94	十勝	120	千葉県	48	神奈川県	47	合計	-685	

渡島 [人口 395,365]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入-転出		転入-転出		転入-転出		転入-転出		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	石狩	2,947	石狩	4,160	東京都	661	東京都	1,081	道内	-947	
2	胆振	544	胆振	558	青森県	455	神奈川県	628	道外	-1,242	
3	檜山	507	上川	309	神奈川県	414	千葉県	438	合計	-2,189	

2022年1月～12月

空知 [人口 276,245]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入-転出		転入-転出		転入-転出		転入-転出		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	石狩	2,652	石狩	4,047	東京都	265	東京都	409	道内	-1,316	
2	上川	669	上川	697	神奈川県	164	神奈川県	200	道外	-277	
3	胆振	327	胆振	358	埼玉県	138	埼玉県	125	合計	-1,593	

石狩 [人口 2,366,170]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入-転出		転入-転出		転入-転出		転入-転出		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	上川	5,047	上川	3,730	東京都	6,856	東京都	8,276	道内	10,655	
2	胆振	4,986	胆振	3,661	神奈川県	3,164	神奈川県	3,187	道外	-516	
3	空知	4,047	渡島	2,701	埼玉県	2,279	千葉県	2,292	合計	10,139	

後志 [人口 194,528]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入-転出		転入-転出		転入-転出		転入-転出		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	石狩	2,200	石狩	3,336	東京都	265	東京都	274	道内	-1,195	
2	胆振	307	胆振	398	神奈川県	126	神奈川県	156	道外	32	
3	渡島	211	渡島	244	千葉県	102	埼玉県	99	合計	-1,163	

胆振 [人口 376,122]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入-転出		転入-転出		転入-転出		転入-転出		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	石狩	3,661	石狩	4,986	東京都	445	東京都	614	道内	-882	
2	上川	477	渡島	462	神奈川県	266	神奈川県	371	道外	-477	
3	渡島	429	上川	401	千葉県	218	千葉県	246	合計	-1,359	

日高 [人口 61,956]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入-転出		転入-転出		転入-転出		転入-転出		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	石狩	598	石狩	924	東京都	87	東京都	109	道内	-496	
2	胆振	251	胆振	373	神奈川県	49	神奈川県	50	道外	-12	
3	十勝	91	十勝	114	埼玉県	43	茨城県 千葉県 大阪府	34	合計	-508	

渡島 [人口 375,448]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入-転出		転入-転出		転入-転出		転入-転出		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	石狩	2,701	石狩	3,680	東京都	629	東京都	953	道内	-696	
2	胆振	462	胆振	429	青森県	412	神奈川県	495	道外	-753	
3	檜山	411	檜山	228	神奈川県	340	青森県	339	合計	-1,449	

# 振興局別の転出入の状況（2/2）

2018年1月～12月

振興局	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入-転出		-		転入-転出		-		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
檜山 [人口 36,168]		-510(-1.4%)				3(0.01%)				道内	-510
		729	1,239	197	194			道外	3		
	1	渡島	276	渡島	507	東京都	41	東京都	38		
上川 [人口 495,947]		-1,369(-0.3%)				-627(-0.1%)				道内	-1,369
		8,188	9,557	3,184	3,811			道外	-627		
	1	石狩	3,659	石狩	5,638	東京都	596	東京都	821		
留萌 [人口 45,840]		-499(-1.1%)				-44(-0.1%)				道内	-499
		1,194	1,693	193	237			道外	-44		
	1	石狩	471	石狩	736	東京都	24	東京都	43		
宗谷 [人口 63,844]		-649(-1.0%)				-61(-0.1%)				道内	-649
		1,567	2,216	375	436			道外	-61		
	1	石狩	649	石狩	1,003	東京都	59	東京都	92		
オホーツク [人口 281,630]		-1,597(-0.6%)				-528(-0.2%)				道内	-1,597
		4,820	6,417	1,617	2,145			道外	-528		
	1	石狩	1,954	石狩	3,177	東京都	308	東京都	451		
十勝 [人口 340,088]		-735(-0.2%)				-359(-0.1%)				道内	-735
		5,739	6,474	2,550	2,909			道外	-359		
	1	石狩	2,527	石狩	3,585	東京都	468	東京都	710		
釧路 [人口 230,748]		-977(-0.4%)				-418(-0.2%)				道内	-977
		4,269	5,246	1,658	2,076			道外	-418		
	1	石狩	1,701	石狩	2,614	東京都	313	東京都	500		
根室 [人口 75,055]		-634(-0.8%)				-75(-0.1%)				道内	-634
		1,561	2,195	502	577			道外	-75		
	1	石狩	562	石狩	810	東京都	91	東京都	142		

2022年1月～12月

振興局	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入-転出		-		転入-転出		-		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
檜山 [人口 33,266]		-395(-1.2%)				-46(-0.14%)				道内	-395
		691	1,086	240	286			道外	-46		
	1	石狩	245	渡島	411	埼玉県	33	東京都	59		
上川 [人口 476,280]		-977(-0.2%)				-745(-0.2%)				道内	-977
		7,714	8,691	3,349	4,094			道外	-745		
	1	石狩	3,730	石狩	5,047	東京都	630	東京都	909		
留萌 [人口 42,122]		-547(-1.3%)				-30(-0.1%)				道内	-547
		1,014	1,561	203	233			道外	-30		
	1	石狩	381	石狩	766	神奈川県	38	東京都	54		
宗谷 [人口 59,480]		-725(-1.2%)				-27(-0.05%)				道内	-725
		1,366	2,091	446	473			道外	-27		
	1	石狩	551	石狩	989	東京都	63	東京都	93		
オホーツク [人口 267,196]		-1,370(-0.5%)				-120(-0.04%)				道内	-1,370
		4,273	5,643	1,877	1,997			道外	-120		
	1	石狩	1,870	石狩	2,837	東京都	328	東京都	381		
十勝 [人口 329,621]		-456(-0.1%)				-99(-0.03%)				道内	-456
		5,363	5,819	2,812	2,911			道外	-99		
	1	石狩	2,399	石狩	3,147	東京都	553	東京都	615		
釧路 [人口 219,153]		-856(-0.4%)				-447(-0.2%)				道内	-856
		3,912	4,768	1,508	1,955			道外	-447		
	1	石狩	1,505	石狩	2,517	東京都	280	東京都	376		
根室 [人口 70,473]		-744(-1.1%)				-126(-0.2%)				道内	-744
		1,370	2,114	448	574			道外	-126		
	1	石狩	437	石狩	906	東京都	76	東京都	119		

# 社会増加率が高い市町村（道内上位10市町村）

- **社会増減率が高い理由（市町村からのヒアリング）**
  - ・ 外国人技能実習生等の転入
  - ・ 移住促進、子育て支援による子育て世帯等の転入
  - ・ 宅地造成、分譲による周辺地域からの転入
  - ・ 企業誘致や企業の規模拡大に伴う従業員の転入 等

2018年（社会増加31市町村）

順位	市町村名	人口 (2019.1.1) (人)	社会増減数 (人)	社会増減率 (%)
	北海道	5,304,413	-3,715	-0.07
1	占冠村	1,508	67	4.62
2	ニセコ町	5,298	116	2.23
3	真狩村	2,102	36	1.72
4	倶知安町	16,642	237	1.44
5	東川町	8,382	114	1.37
6	上士幌町	5,000	62	1.24
7	恵庭市	69,850	563	0.81
8	西興部村	1,114	7	0.63
9	猿払村	2,745	16	0.59
10	長万部町	5,493	32	0.58

2022年（社会増加49市町村）

順位	市町村名	人口 (2023.1.1) (人)	社会増減数 (人)	社会増減率 (%)
	北海道	5,139,913	4,021	0.08
1	占冠村	1,394	172	14.00
2	倶知安町	15,636	902	6.10
3	ニセコ町	5,088	170	3.44
4	東川町	8,601	283	3.37
5	南幌町	7,546	233	3.16
6	西興部村	1,030	20	1.94
7	大樹町	5,439	66	1.22
8	猿払村	2,637	28	1.07
9	鶴居村	2,485	25	1.01
10	仁木町	3,128	28	0.88

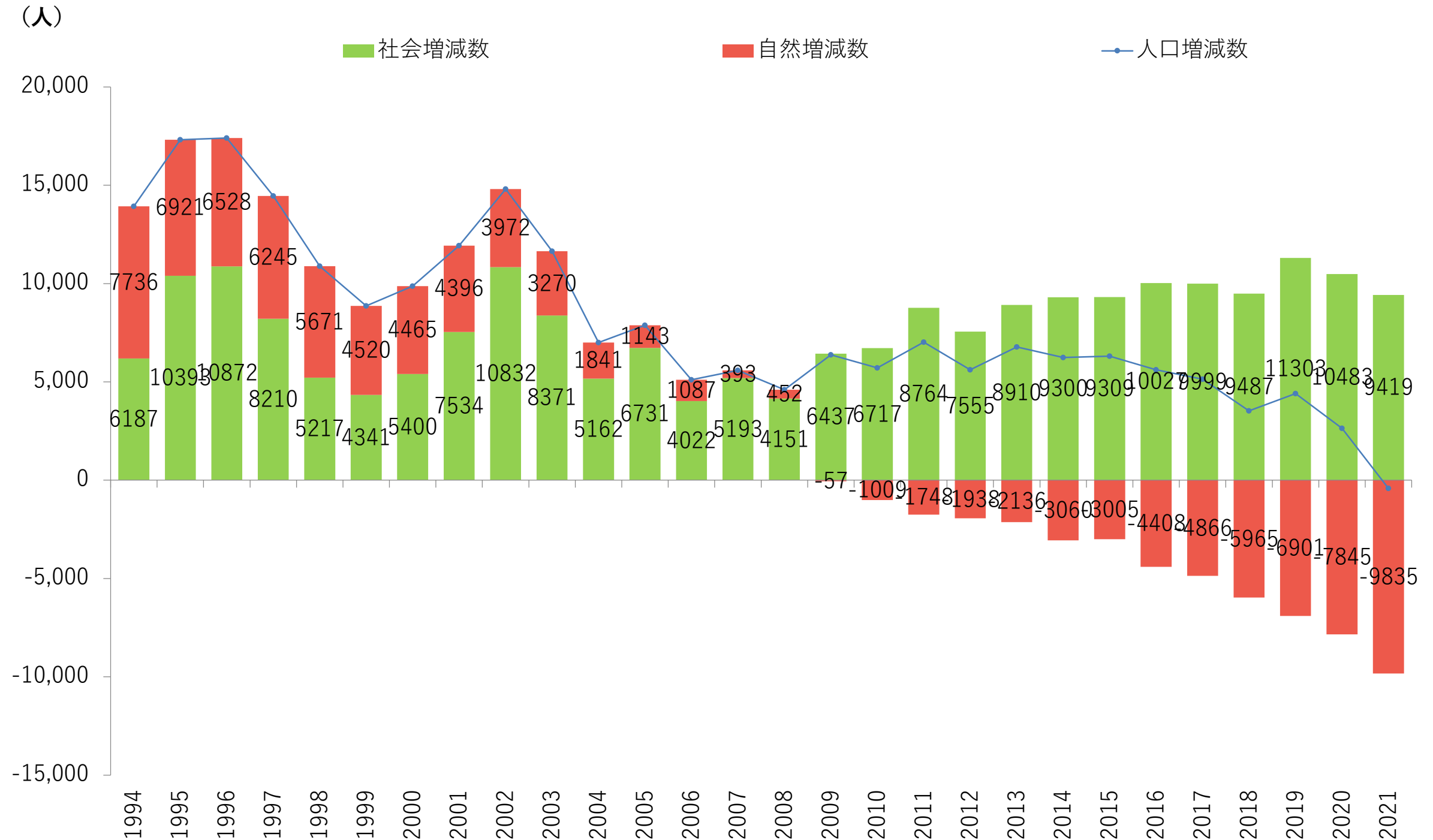
# 4. 札幌市への人口集中

---

# 札幌市の自然増減・社会増減の推移

人口ビジョン掲載無し

● 札幌市では2009年に初めて自然減に転じ、その後減少規模は拡大し、2021年には自然減が社会増を上回り、戦後初めて人口減少に転じている。



RESAS 地域経済分析システム

# 札幌市への人口集中割合

- 札幌市への人口集中割合は、1970年には約5分の1だったが、1980年に4分の1になり、2020年では3分の1以上となっており、札幌市への集中が進行している。

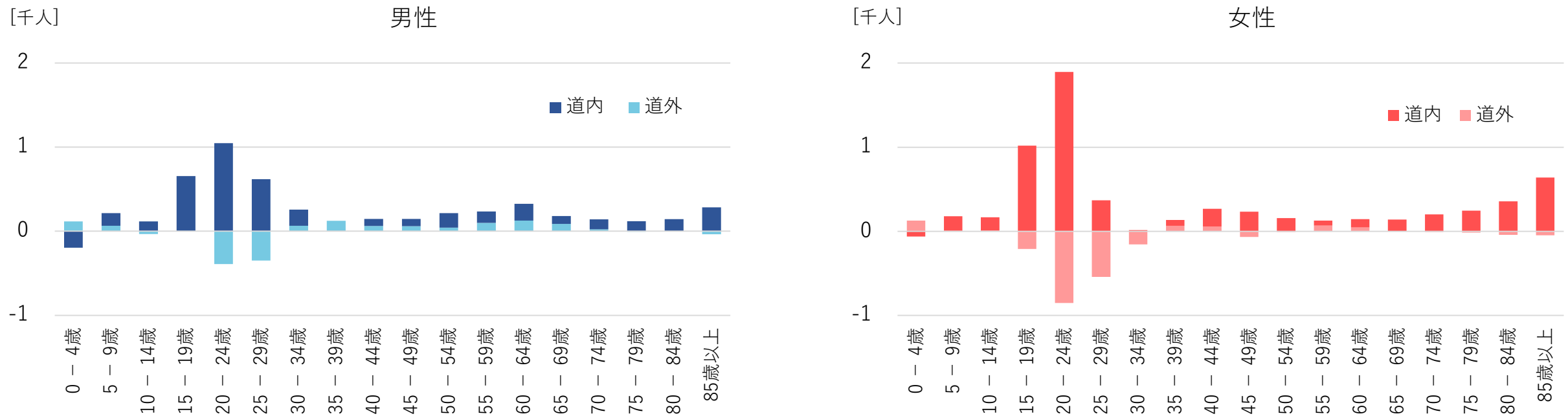
札幌市への人口集中割合（1970年～2020年）

	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年	2015年	2020年
北海道	5,184,287	5,575,989	5,643,647	5,683,062	5,506,419	5,381,733	5,224,614
札幌市	1,010,123	1,401,757	1,671,742	1,822,368	1,913,545	1,952,356	1,973,395
割合	19.5%	25.1%	29.6%	32.1%	34.8%	36.3%	37.8%

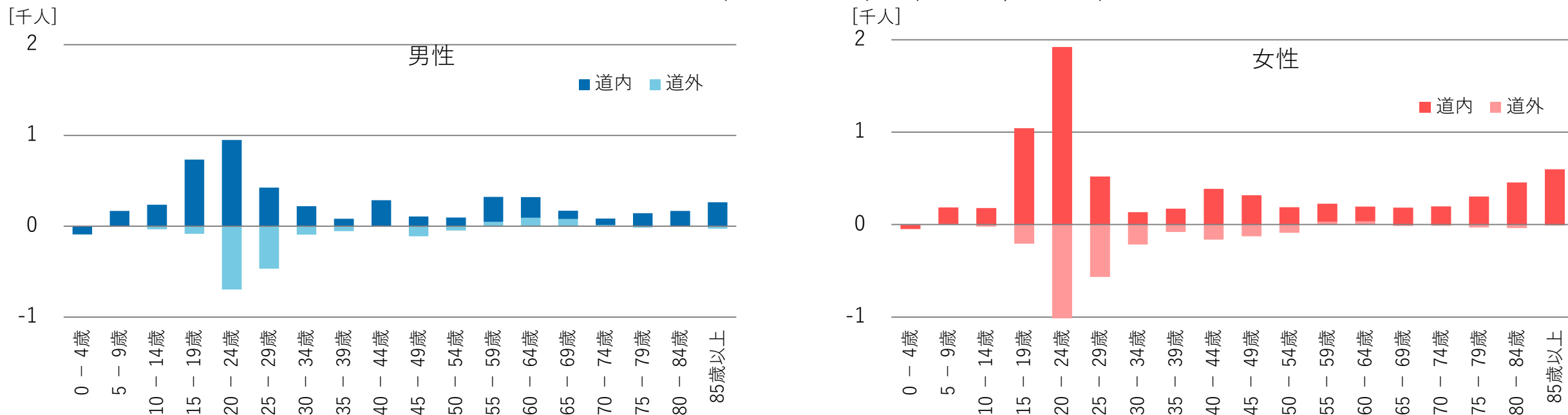
# 男女・道内・道外年齢別転入超過数（札幌市 2022）

- 札幌市の転出入の状況について年齢別にみると、道内は、男女とも15～24歳で大幅な転入超過となっており、特に女性の20～24歳の転入超過が目立っている。一方で、男女とも道外は20歳～24歳、25歳～29歳で転出超過となっている。

年齢別人口移動（転入－転出）（札幌市,2022年）



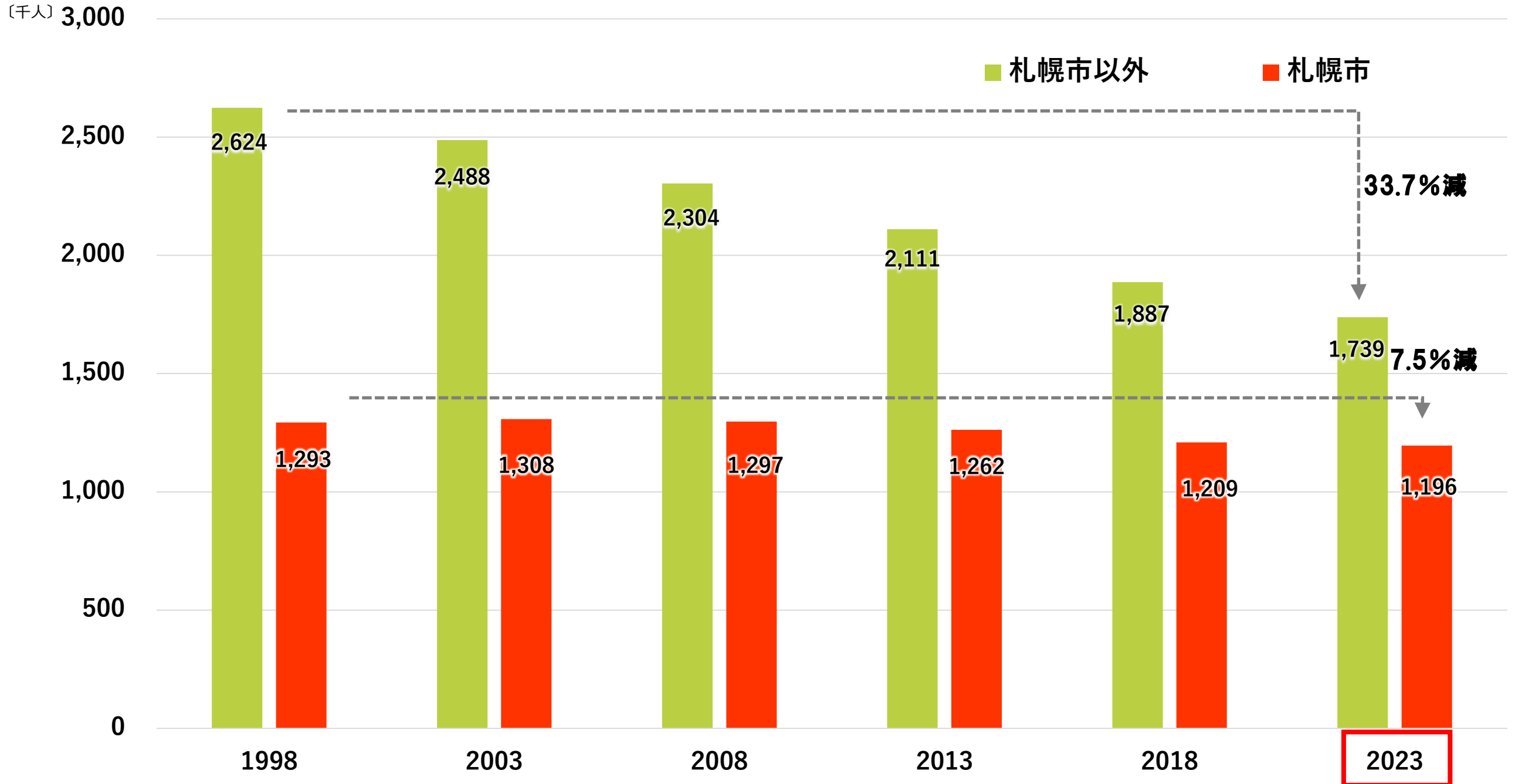
年齢別人口移動（転入－転出）（札幌市,2018年）





# 札幌市とその他地域の生産年齢人口

- 1998年から2023年の25年間で札幌市の生産年齢人口（15～64歳人口）は7.5%の減少に留まっているが、札幌市を除く地域では33.7%と大きく減少している。

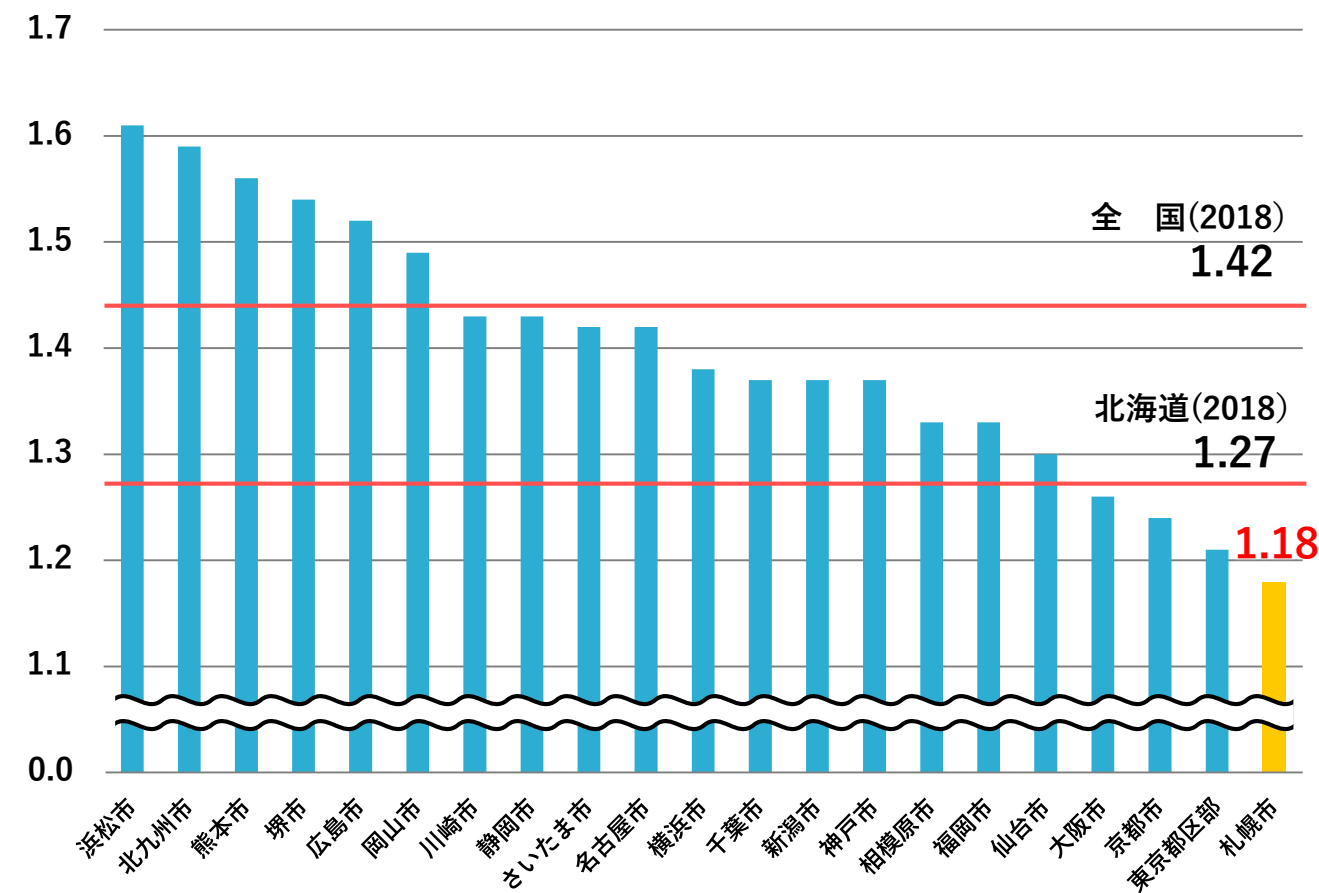


総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」※1998～2013年の3月31日人口(日本人のみ)  
2018～2023年の1月 1日人口(日本人のみ)

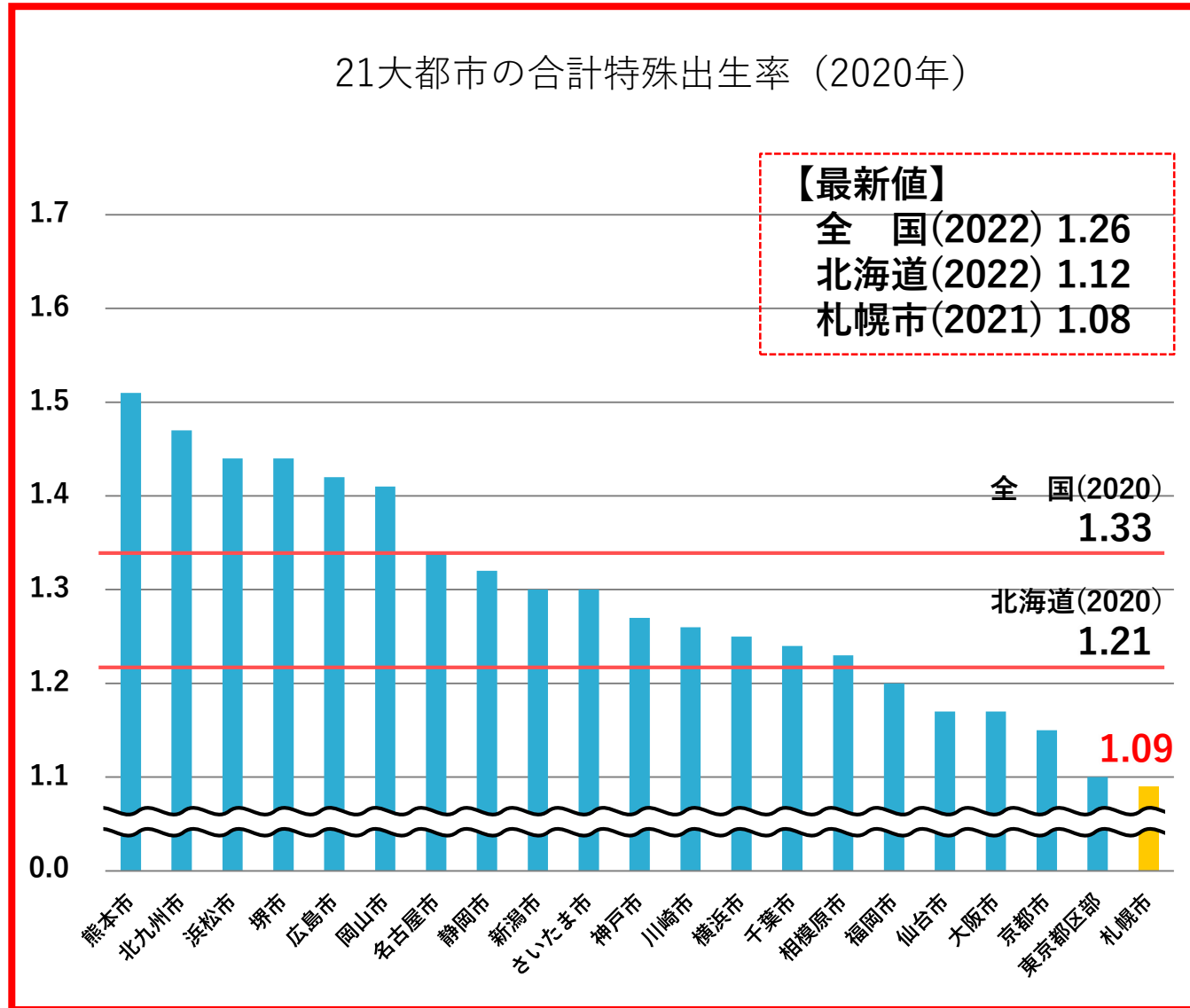
# 21大都市の合計特殊出生率

- 札幌市の合計特殊出生率は全国平均より低く、全国21大都市の中で最も低い。全道人口の3分の1を占める札幌市の出生率は、北海道全体の出生率に大きく影響している。

21大都市の合計特殊出生率（2015年）



21大都市の合計特殊出生率（2020年）

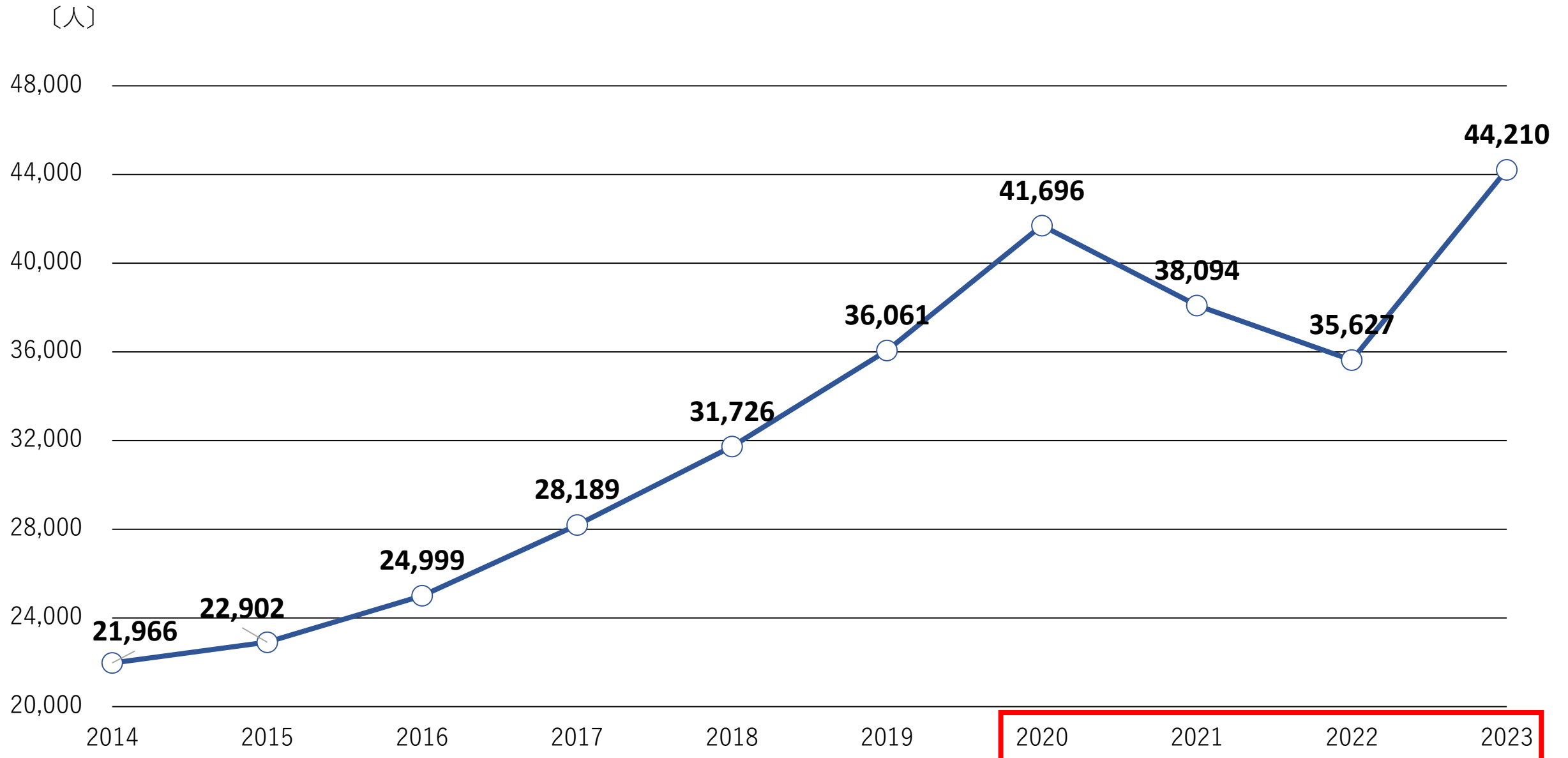


# 5. 外国人の人口動向

---

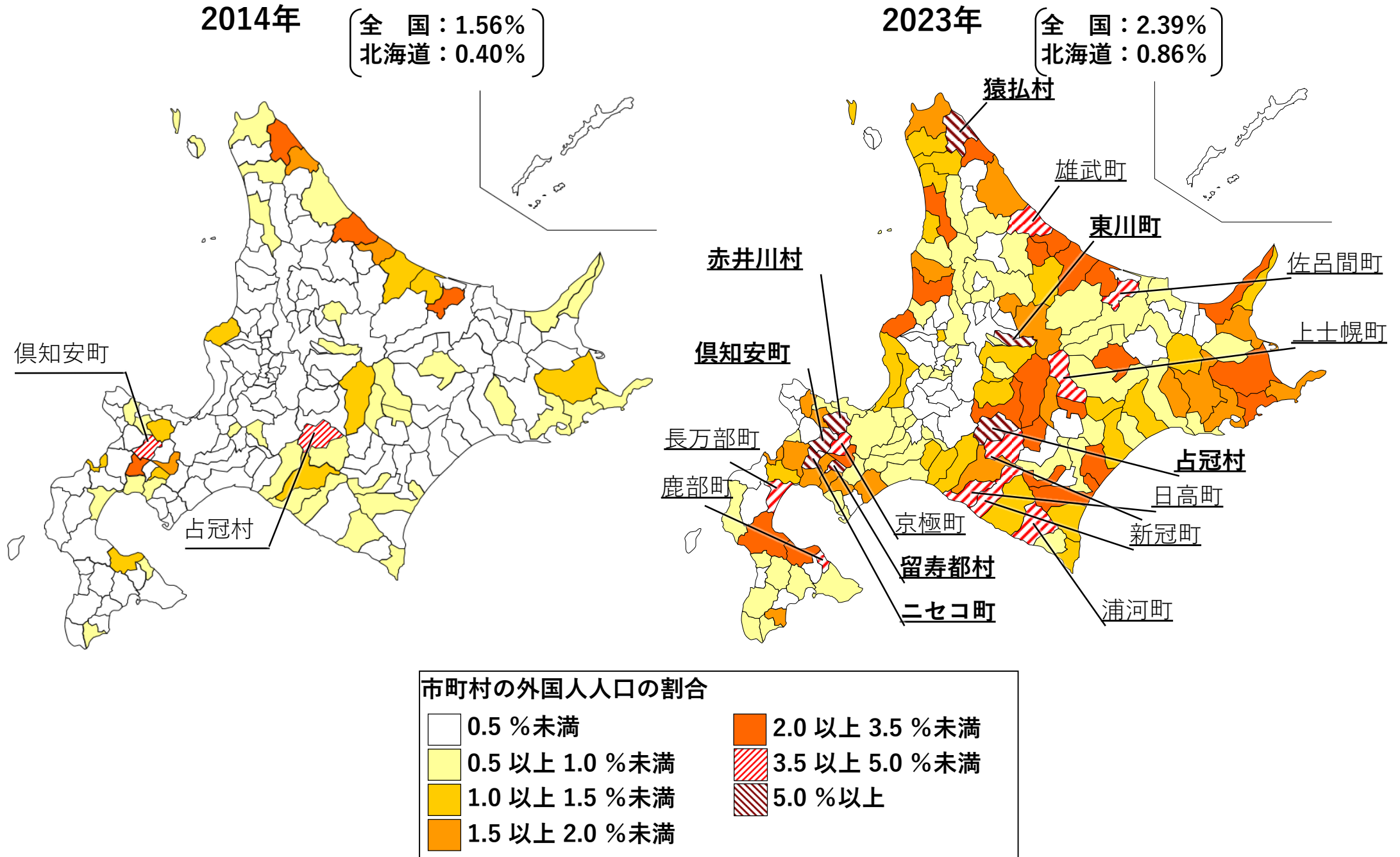
# 外国人人口の推移（北海道）

- コロナ前までは毎年増加しており、コロナ禍における制限により一時減少したものの、制限緩和後の2023年はコロナ前よりも増加し、2014年の2倍以上となっている。



# 市町村別外国人人口割合の推移

● 総人口に占める外国人人口の割合は、道全体で2014年の0.40%から2023年には0.86%まで上昇している。また、市町村別に見ても、外国人の割合が上昇している市町村の数が増えてきている。



# 外国人の影響による転入超過市町村

- 農業、水産業等の外国人技能実習生受入や観光業・宿泊業の雇用増加による外国人従業者の転入などにより、2022年は23町村が外国人の影響により転入超過となっている。

外国人の影響による転入超過市町村（2018年）

市町村名	転入超過数（人）	
	日本人	外国人
苫小牧市	54	67
長万部町	32	44
蘭越町	10	12
留寿都村	5	44
倶知安町	237	407
遠別町	1	17
猿払村	16	29
佐呂間町	19	60
厚真町	4	5
標津町	1	7

外国人の影響による転入超過市町村（2022年）

市町村名	転入超過数（人）	
	日本人	外国人
知内町	9	23
長万部町	8	45
蘭越町	14	20
ニセコ町	170	207
真狩村	4	13
留寿都村	8	66
京極町	24	62
倶知安町	902	977
泊村	1	2
赤井川村	4	35
由仁町	1	8
沼田町	4	6
南富良野町	8	16
遠別町	8	10
斜里町	3	85
壮瞥町	11	17
洞爺湖町	46	52
むかわ町	4	27
日高町	6	102
新冠町	3	54
浦河町	100	119
新得町	12	105
中札内村	10	10

# 6. 将来人口の推計

---

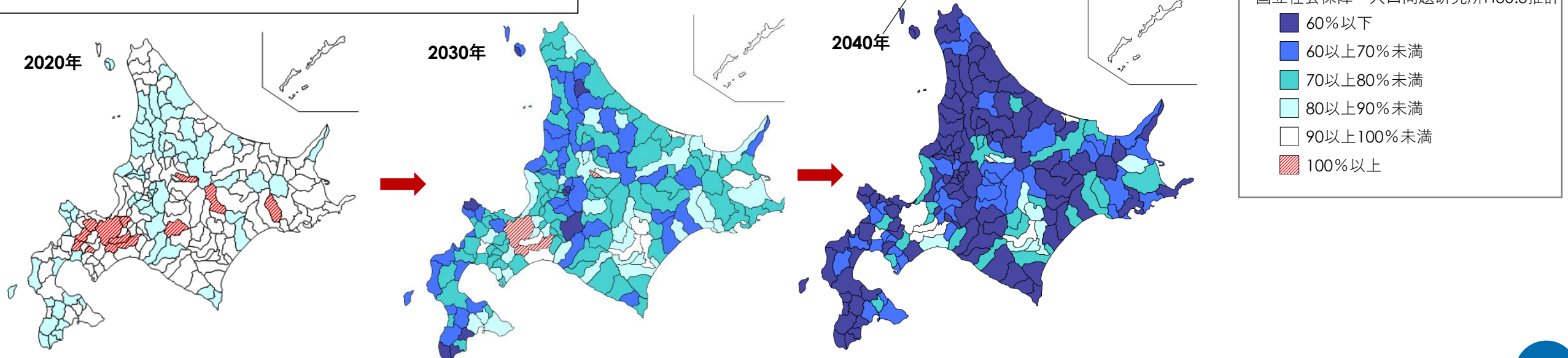
# 人口減少率（対2015年）別の市町村数の推移

- 国による推計を市町村別にみると、2040年には、全市町村の半分以上の102市町村で人口が現在の6割以下となり、そのうち39市町村で5割以下になると見込まれている。

分類 (対2015年比)	2020年 令和2年		2030年 令和12年		2040年 令和22年	
	市町村数	割合	市町村数	割合	市町村数	割合
	100%超	18	9.6%	7	3.7%	2
90~100	109	58.0%	12	6.4%	10	5.3%
80~90	61	32.4%	35	18.6%	10	5.3%
70~80	0	0.0%	79	42.0%	21	11.2%
60~70	0	0.0%	46	24.5%	43	22.9%
60以下	0	0.0%	9	4.8%	<b>102</b>	<b>54.3%</b>
50以下	0	0.0%	0	0.0%	<b>39</b>	<b>20.7%</b>
全体	188	100.0%	188	100.0%	188	100.0%

注) 北海道は179市町村で構成されているが、札幌市は10区ごとに計算しており、合計は188となっている。

2015年の総人口を100とした時の  
2020、2030、2040年の市町村の総人口指数





# 人口減少段階別・人口規模別の市町村数の状況

- 道内の市町村は、小規模な市町村を中心に第3段階が多くなっている。このことから、人口規模が小さい市町村ほど人口減少がさらに進行していくと見込まれる。

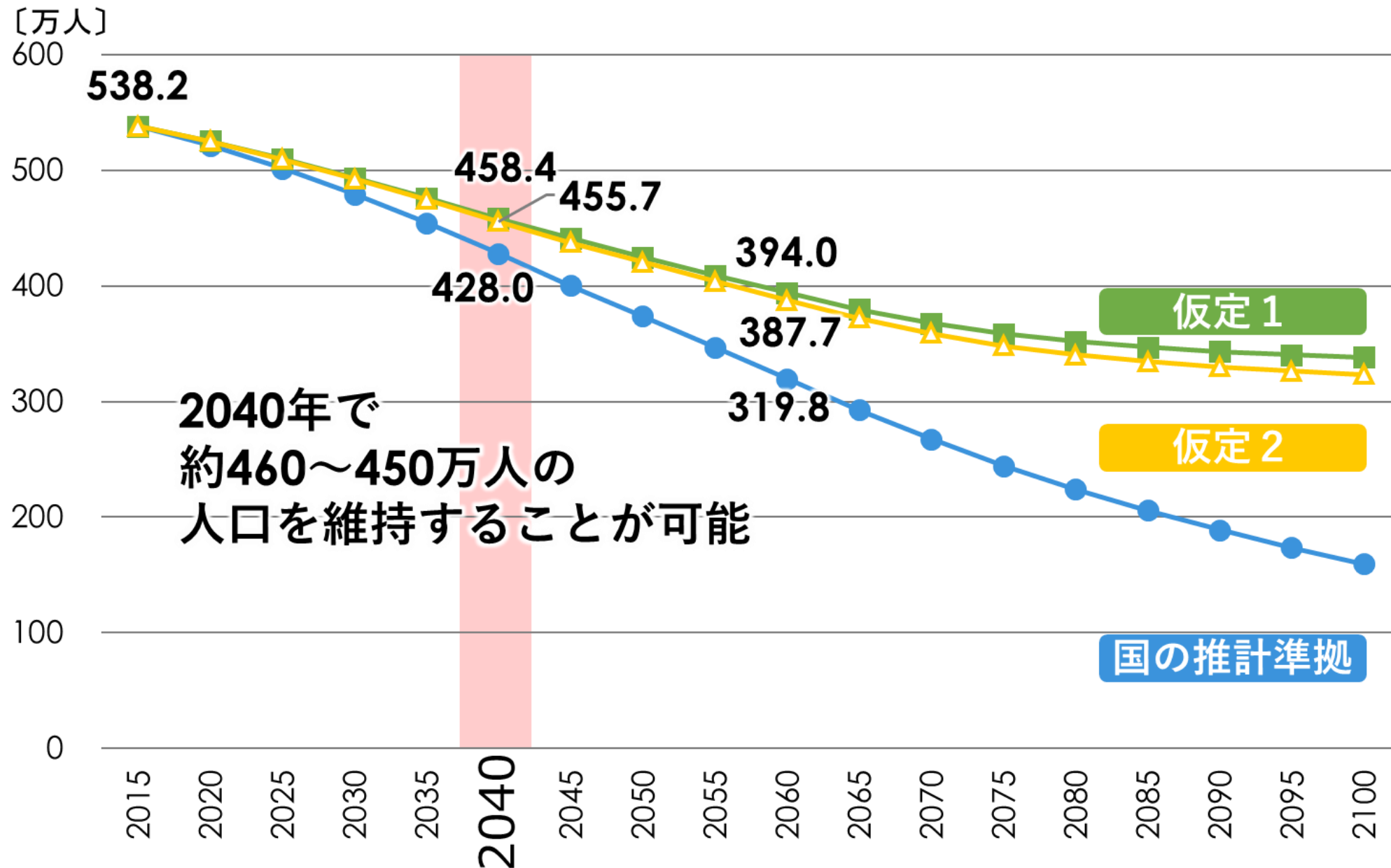
第1段階：「高齢者人口」増加	「年少人口」「生産年齢人口」減少
第2段階：「高齢者人口」維持・微減（0～10%）	「年少人口」「生産年齢人口」減少
第3段階：「高齢者人口」減少（11%以上）	「年少人口」「生産年齢人口」減少

	市町村の人口規模					合 計
	10万人～	3万人 ～10万人	1万人 ～3万人	5千人 ～1万人	～5千人	
第1段階	16(88.9%)	7(53.8%)	9(25.7%)	4(8.9%)	7(9.1%)	43(22.9%)
第2段階	1(5.6%)	4(30.8%)	4(11.4%)	7(15.6%)	0(0.0%)	16(8.5%)
第3段階	1(5.6%)	2(15.4%)	22(62.9%)	34(75.6%)	70(90.9%)	129(68.6%)
合 計	18(100.0%)	13(100.0%)	35(100.0%)	45(100.0%)	77(100.0%)	188(100.0%)

注) 北海道は179市町村で構成されているが、札幌市は10区ごとに計算しており、合計は188となっている。

# 人口減少段階別・人口規模別の市町村数の状況

- 仮定1、2の推計では、2040年で約460～450万人の人口を維持。



## 仮定1 2040年の人口約458万人

- ① 自然動態 (合計特殊出生率)  
2030年：1.8、2040年：2.07
- ② 社会動態 (社会増減数)  
2023年：均衡 (=0)

## 仮定2 2040年の人口約456万人

- ① 自然動態 (合計特殊出生率)
  - 札幌市 2030年：1.65、2040年：1.8、2050年：2.07
  - 札幌市以外は仮定1と同様
- ② 社会動態 (社会増減数) 仮定1と同様